



自分の世界を広げるとき  
自分の思いを出せるのは、そのときの



ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
かかわる力	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おはよう。」「さようなら。」など、生活に必要なあいさつや返事をするようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者が率先してあいさつし、あいさつの心地よさを知らせる。</li> </ul>
	あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達のしていることに興味をもつ。</li> <li>周りにいる同年齢の幼児に親しみをもつようになる。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の友達の名前を知ったり、親しみを感じたりできるよう、みんなで一緒に楽しめる活動を取り入れる。</li> <li>同じ物を持ったり同じ場で遊んだりできるようにしながら、同じ場で過ごす心地よさを感じられるようにする。</li> </ul> 
	人とかわる	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間になったら遊びを切り上げるなど、場や状況に応じた態度をとらないといけないことを知る。</li> <li>集団生活でのルールや安全の約束が分かる。</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の流れの中で「片付け」「食事」など、気持ちを切り替えて行動できるように次の活動の投げかけを工夫する。</li> <li>自分で我慢ができたことを十分に認め、自信がつくようにする。</li> <li>遊びの中で順番や物の貸し借りや遊具を大切に扱うことなど、場面に応じて知らせる。</li> <li>視聴覚教材を使って安全の約束を知らせる。</li> <li>上の学年の幼児の姿をとおして、集会や行事など様々な場面での望ましい態度を知らせ、「今はこうする」という姿勢が意識できるように促す。</li> </ul>

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)
 <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単なあいさつや返事など必要な言葉は、<b>大人が手本となるよう、気持ちのよいあいさつを心がけましょう。</b></li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>集団の中で「友達と仲良く遊ぶ」ことを求めがちですが一人ひとり好きなことは違うので、友達と違うことをしていても焦らず見守っていきましょう。<b>まずは一人でも夢中になって遊ぶということが大切です。</b></li> <li>保護者同士はもちろん、同じ園に通う子どもたちについても、互いに受け入れ合い、親しみをもって接しましょう。</li> </ul> <p>一人ひとり好きなことは違う</p>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で使った物は自分で片付ける、あいさつをして食事をするなど家庭でのルールを決め、決まりや約束を守る習慣を身に付けていきましょう。</li> <li>大人が生活のリズムを整えて「遊び」「片付け」「食事」「就寝」など、活動の切り替えを明確にして促していきましょう。</li> <li>気持ちの切り替えが難しいこともあります。我慢を学んでいるときだと捉え、<b>根気よく一人ひとりに合った声の掛け方や取り組み方を探っていきましょう。</b></li> <li>遊びの中で大人も一緒に順番を守ったり、公共の物を大切にすることを示したりしていきましょう。安全に利用するための約束を、その都度知らせましょう。</li> <li>乗り物の中や病院では静かにするなど、場に応じた態度をとることを知らせましょう。</li> </ul> <p>次があなた順番に一緒に待つんだよ</p>